



奈良文化論の授業で

伝統芸能 雅楽

演奏会を行いました♪



まさか講義内で雅楽の演奏ができるなんて…!

参加出来てとても嬉しかったです。1300年前から続く音楽を通じて古代を体験できる部活です。春日若宮おん祭りでのお手伝いなど貴重な体験盛り沢山! 私たちと一緒に古代を奏でませんか?

雅楽研究会 会長
のりかね
則包 遥菜さん
文化財学科 3年(初芝立命館高校出身)

奈良には、雅楽や能などの伝統芸能が数多くあります。これらの伝統芸能は、奈良の歴史や文化を物語るものであり、私たちの心を豊かにしてくれるものでもあります。私たちは、これらの伝統芸能を学び、その歴史と伝統を理解し、保存継承の必要性を意識しながら、次世代に伝えていくことが大切です。

公益社団法人南都楽所理事・楽師
笠置 慎一先生



雅楽を初めて見ましたが、韓国と日本では楽器は似ているけれども音やメロディが異なるのがとても興味深かったです。すべての楽器が一つになった一体感がすごく良かったです。

私は嵐の「Japonism」というアルバムが好きでよく聞きますが、その中の一曲が雅楽の影響を受けていると知り、今日の演奏を聴くのがとても

楽しみでした。韓国伝統文化大学校からの交換留学生
ウォン ソジン
元 瑞辰さん



奈良クラブ ウェルカムイベントに参加

ホームゲームの

今回の社会体験実習では、奈良クラブのホームゲーム運営に携わせて頂きました。授業中に試合前のウェルカムイベントで行う「サッカービンゴ」の企画を考え、実行、達成させることが出来るためにはどうすべきかをみんなで話し合いました。当日はかなり暑かったですが、子供から大人まで様々な年代の方に来て頂きました。奈良クラブのサポーターのみでなく、選手や対戦相手のサポーターにも参加して頂くことができ、満足する結果で終える事が出来ました。この経験をインターンや就活に活かしたいです。

総合社会学科 2年 宗村 優希さん(新潟西高校出身)



奈良クラブ選手も参加

ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ～

今回のイベントで島本太香子先生のアシスタントをしました。「人間はどのように身の回りの変化(ストレス・時間)に反応しているのか体感しよう」というプログラムで、中高生の皆さんと一緒に、運動や心理的な実験を行いながら心拍数を測り、どのような時にドキドキしたり緊張したりするのかを体験しました。中高生の方も保護者の方も「楽しかった!」「家に帰って家族に教えてあげたい!」と言ってくださったのが印象的でした。何かを学ぶためには、「自らが楽しむこと」が最も重要なのではないかと中高生の皆さんと一緒に活動してみて改めて感じました。

総合社会学科 2年 藤本 ちひろさん(阿波高校出身)

※ひらめき☆ときめきサイエンスとは、大学で行われている最先端の研究成果に、小・中・高校生が、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらうプログラムです。



OPEN CAMPUS

2024年

8|27 (日) 9|17 (日) 3|20 (水・祝)

9:30~15:00

※各日程の詳細はホームページでご確認ください。



詳細はこちら

9|17 (日)

オープンキャンパス同日開催イベント

「災害と学問—大学で災害を学ぶ」

関東大震災100年目の節目に当たり、災害に焦点を当てたシンポジウムを開催します。

奈良大学の
公式Instagram
開設しました!



@NARA_UNIVERSITY

奈良大生の学生生活をアップしていきます。「フォロー&いいね」よろしくお願いします。